

④

建設廃棄物の処理

②再資源化等

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地
○ コンクリート	・	・
コンクリート及び鉄から成る建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品等）	・	・
○ 木材	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地
○ 蛍光灯、H I Dランプ	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニル管・継手	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニルパイプ・鋼管・継手	・再資源化する	・	・
・	・再資源化する	・	・

〔解4. 4. 1〕

種 類	再利用する場所（箇所）等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	所在地等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解4. 5. 1〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
CCA処理木材	・	・
ひ素・カドミウム含有せつこうボード	・	・
○アスベスト含有成形板	・	・
・	・	・

〔標3. 2. 5〕

- ・ 構外搬出適切処理
- 自由処分
- ・ 処分地指定 処分地（ ）
- ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km
- ・ 全て原形復旧の為埋戻し、転圧するものとする。
- ・ 詳細については監督職員と協議するものとする。

③現場利用する再資源化された建設廃棄物

④産業廃棄物広域認定制度の活用

⑤最終処分する建設廃棄物

⑥処理に注意を要する建設廃棄物

⑦建設発生土の処理

⑤

特別管理産業廃棄物等の処理等

⑤

特殊な建設副産物の回収及び処分

⑥

アスベスト含有建材の除去等

⑤

1 施工調査

〔解5. 1. 3〕

分析調査を行う特別管理 管理産業廃棄物の種類	採取する部位 又は箇所等	採取する数量
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解5. 4. 1〕

特別管理産業廃棄物の種類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解5. 4. 3〕

引渡しを要する機器類

- ・
- ・

注）照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離して金属箱に収納し、表示を付して建物管理者に引き渡す（報告書共）こと。

〔解5. 4. 4〕

PCB含有分析調査

- ・ 第一次判定  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。  
採取箇所数：計（ ）箇所  
採取箇所：※図示（図面（ ）による）
- ・ 第二次判定  
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。  
分析箇所：計（ ）箇所

撤去方法

- ・ 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。

撤去範囲

- ・ 図示（図面（ ）による）・

〔解5. 4. 1〕

回収又は処分を行う特	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
○ フロン	○冷蔵庫、空調機	・	・
ハロン	・	・	・
圧搾式感知器	・	・	・
六ふっ化硫黄（S F 6）ガス	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

⑤

2 特別管理産業廃棄物の処分

〔解5. 4. 1〕

特別管理産業廃棄物の種類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解5. 4. 3〕

引渡しを要する機器類

- ・
- ・

注）照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離して金属箱に収納し、表示を付して建物管理者に引き渡す（報告書共）こと。

〔解5. 4. 4〕

PCB含有分析調査

- ・ 第一次判定  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。  
採取箇所数：計（ ）箇所  
採取箇所：※図示（図面（ ）による）
- ・ 第二次判定  
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。  
分析箇所：計（ ）箇所

撤去方法

- ・ 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。

撤去範囲

- ・ 図示（図面（ ）による）・

〔解5. 4. 1〕

回収又は処分を行う特	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
○ フロン	○冷蔵庫、空調機	・	・
ハロン	・	・	・
圧搾式感知器	・	・	・
六ふっ化硫黄（S F 6）ガス	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

⑤

3 PCBを含む機器類

〔解5. 4. 3〕

引渡しを要する機器類

- ・
- ・

注）照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離して金属箱に収納し、表示を付して建物管理者に引き渡す（報告書共）こと。

〔解5. 4. 4〕

PCB含有分析調査

- ・ 第一次判定  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。  
採取箇所数：計（ ）箇所  
採取箇所：※図示（図面（ ）による）
- ・ 第二次判定  
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。  
分析箇所：計（ ）箇所

撤去方法

- ・ 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。

撤去範囲

- ・ 図示（図面（ ）による）・

〔解5. 4. 1〕

回収又は処分を行う特	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
○ フロン	○冷蔵庫、空調機	・	・
ハロン	・	・	・
圧搾式感知器	・	・	・
六ふっ化硫黄（S F 6）ガス	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

⑤

4 PCB含有シーリング材

〔解5. 4. 4〕

PCB含有分析調査

- ・ 第一次判定  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。  
採取箇所数：計（ ）箇所  
採取箇所：※図示（図面（ ）による）
- ・ 第二次判定  
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。  
分析箇所：計（ ）箇所

撤去方法

- ・ 「標準施工要領書（日本シーリング工事業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による。

撤去範囲

- ・ 図示（図面（ ）による）・

〔解5. 4. 1〕

回収又は処分を行う特	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
○ フロン	○冷蔵庫、空調機	・	・
ハロン	・	・	・
圧搾式感知器	・	・	・
六ふっ化硫黄（S F 6）ガス	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

⑦

共通事項

⑫

完成時の提出書類

○完成図（施工図、施工計画書を除く）  
・新規に作成 ○既存完成図を修正  
記載内容は監督職員と協議する。  
完成図C A Dデータ（C D－R）

・ 安全に関する資料

・ 施工図

・ 施工計画書

本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。  
製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に変わるものとしてよい。  
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

※設計G L＝B M＋ mm（現状地盤高は図示）

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

本工事の施工範囲  
図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  
図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強  
自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強  
駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

施工図  
設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備（建設大臣官房官庁営繕部監修）  
び従い撮影する。 提出部数 1 部

撮影箇所数 外観4面各室2面程度  
本完成写真の著作権の権利は、発注者に委譲するものとする。  
提出内容  
・電子データ 1部  
画素：長辺で2880P I X以上  
記録方式：R G B（フルカラー）、J P E G最高画質  
記録媒体：C D－R（I S O）  
○カラープリント キヤビネ版（ 1 ）部  
アルバム（大きさ335mm×290mm程度） ○無し ・有り

工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。

工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならない補修する。

・消火器の設置届については、電気及び機械設備について設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。  
・防火対象物使用開始届については書類作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。

○ 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他への必要な届出手続き等を遅滞なく行うこととし、その費用は受注者の負担とする。

○現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。  
○検査終了後の期間  
検査完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。

⑩

工事写真

⑪

完成写真

⑮

事故報告

⑯

養生その他

20

消防提出書類

㉑

官公署その他への届出手続等

㉒

主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

③

その他工事

①

その他

②

仮設工事

①

足場

〔2. 2. 4〕  
足場を設ける場合、〔2. 2. 4〕(b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙1））における2の（2）手すり据置方式、又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

〔2. 3. 1〕  
・ 設ける ○ 設けない

規模（m 2程度） ・ 1 0 ・ 2 0 ※ 3 5 ・ 6 5 ・ 1 0 0

備品等の設置

種 類	机・いす	書棚	風板・白浜	掛時計	温度計
数 量	個	台	個	個	個
種 類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ
数 量	足	着	個	個	個
種 類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数 量	個	個	台	台	台

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

②

監督職員事務所

3

監督職員事務所  
の備品等

④

仮設便所

⑤

工事用水

⑥

工事電力

④

建設発生土の処理

②

再資源化等

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地
○ コンクリート	・	・
コンクリート及び鉄から成る建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品等）	・	・
○ 木材	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地
○ 蛍光灯、H I Dランプ	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニル管・継手	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニルパイプ・鋼管・継手	・再資源化する	・	・
・	・再資源化する	・	・

〔解4. 4. 1〕

種 類	再利用する場所（箇所）等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	所在地等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解4. 5. 1〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
CCA処理木材	・	・
ひ素・カドミウム含有せつこうボード	・	・
○アスベスト含有成形板	・	・
・	・	・

〔標3. 2. 5〕

- ・ 構外搬出適切処理
- 自由処分
- ・ 処分地指定 処分地（ ）
- ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km
- ・ 全て原形復旧の為埋戻し、転圧するものとする。
- ・ 詳細については監督職員と協議するものとする。

③現場利用する再資源化された建設廃棄物

④産業廃棄物広域認定制度の活用

⑤最終処分する建設廃棄物

⑥処理に注意を要する建設廃棄物

⑦建設発生土の処理

⑦

石綿作業主任者

①

共通事項

③

その他工事

②

仮設工事

①

足場

〔2. 2. 4〕  
足場を設ける場合、〔2. 2. 4〕(b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙1））における2の（2）手すり据置方式、又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

〔2. 3. 1〕  
・ 設ける ○ 設けない

規模（m 2程度） ・ 1 0 ・ 2 0 ※ 3 5 ・ 6 5 ・ 1 0 0

備品等の設置

種 類	机・いす	書棚	風板・白浜	掛時計	温度計
数 量	個	台	個	個	個
種 類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ
数 量	足	着	個	個	個
種 類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数 量	個	個	台	台	台

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

②

監督職員事務所

3

監督職員事務所  
の備品等

④

仮設便所

⑤

工事用水

⑥

工事電力

④

建設発生土の処理

②

再資源化等

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地
○ コンクリート	・	・
コンクリート及び鉄から成る建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品等）	・	・
○ 木材	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地
○ 蛍光灯、H I Dランプ	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニル管・継手	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニルパイプ・鋼管・継手	・再資源化する	・	・
・	・再資源化する	・	・

〔解4. 4. 1〕

種 類	再利用する場所（箇所）等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	所在地等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解4. 5. 1〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
CCA処理木材	・	・
ひ素・カドミウム含有せつこうボード	・	・
○アスベスト含有成形板	・	・
・	・	・

〔標3. 2. 5〕

- ・ 構外搬出適切処理
- 自由処分
- ・ 処分地指定 処分地（ ）
- ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km
- ・ 全て原形復旧の為埋戻し、転圧するものとする。
- ・ 詳細については監督職員と協議するものとする。

③現場利用する再資源化された建設廃棄物

④産業廃棄物広域認定制度の活用

⑤最終処分する建設廃棄物

⑥処理に注意を要する建設廃棄物

⑦建設発生土の処理

⑦

石綿作業主任者

①

共通事項

③

その他工事

②

仮設工事

①

足場

〔2. 2. 4〕  
足場を設ける場合、〔2. 2. 4〕(b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙1））における2の（2）手すり据置方式、又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

〔2. 3. 1〕  
・ 設ける ○ 設けない

規模（m 2程度） ・ 1 0 ・ 2 0 ※ 3 5 ・ 6 5 ・ 1 0 0

備品等の設置

種 類	机・いす	書棚	風板・白浜	掛時計	温度計
数 量	個	台	個	個	個
種 類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ
数 量	足	着	個	個	個
種 類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数 量	個	個	台	台	台

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

②

監督職員事務所

3

監督職員事務所  
の備品等

④

仮設便所

⑤

工事用水

⑥

工事電力

④

建設発生土の処理

②

再資源化等

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地
○ コンクリート	・	・
コンクリート及び鉄から成る建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品等）	・	・
○ 木材	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地
○ 蛍光灯、H I Dランプ	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニル管・継手	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニルパイプ・鋼管・継手	・再資源化する	・	・
・	・再資源化する	・	・

〔解4. 4. 1〕

種 類	再利用する場所（箇所）等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	所在地等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解4. 5. 1〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
CCA処理木材	・	・
ひ素・カドミウム含有せつこうボード	・	・
○アスベスト含有成形板	・	・
・	・	・

〔標3. 2. 5〕

- ・ 構外搬出適切処理
- 自由処分
- ・ 処分地指定 処分地（ ）
- ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km
- ・ 全て原形復旧の為埋戻し、転圧するものとする。
- ・ 詳細については監督職員と協議するものとする。

③現場利用する再資源化された建設廃棄物

④産業廃棄物広域認定制度の活用

⑤最終処分する建設廃棄物

⑥処理に注意を要する建設廃棄物

⑦建設発生土の処理

⑦

石綿作業主任者

①

共通事項

③

その他工事

②

仮設工事

①

足場

〔2. 2. 4〕  
足場を設ける場合、〔2. 2. 4〕(b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙1））における2の（2）手すり据置方式、又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

〔2. 3. 1〕  
・ 設ける ○ 設けない

規模（m 2程度） ・ 1 0 ・ 2 0 ※ 3 5 ・ 6 5 ・ 1 0 0

備品等の設置

種 類	机・いす	書棚	風板・白浜	掛時計	温度計
数 量	個	台	個	個	個
種 類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ
数 量	足	着	個	個	個
種 類	消火器	掃除具	請負者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数 量	個	個	台	台	台

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

構内既存の施設 ○利用できない ・利用できる（ ・有償 ・無償 ）

②

監督職員事務所

3

監督職員事務所  
の備品等

④

仮設便所

⑤

工事用水

⑥

工事電力

④

建設発生土の処理

②

再資源化等

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地
○ コンクリート	・	・
コンクリート及び鉄から成る建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品等）	・	・
○ 木材	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

〔解4. 4. 1〕

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地
○ 蛍光灯、H I Dランプ	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニル管・継手	・再資源化する	・	・
硬質塩化ビニルパイプ・鋼管・継手	・再資源化する	・	・
・	・再資源化する	・	・

〔解4. 4. 1〕

種 類	再利用する場所（箇所）等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	所在地等
・	・
・	・
・	・
・	・

〔解4. 4. 2〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

〔解4. 5. 1〕

種 類	処理施設の名称等	所在地等
CCA処理木材	・	・
ひ素・カドミウム含有せつこうボード	・	・
○アスベスト含有成形板	・	・
・		

図面訂正年月日	特記事項	林・勝田共同企業体 林州啓建築設計事務所 1級建築士登録 第211001号 林 州啓 勝田建築設計事務所 1級建築士登録 第128633号 勝田 明廣	作図年月日	工事名称 旧大王給食センター・名田分校解体工事	図面番号
			H29.01	図面名称 特記仕様書 2	A-2
			縮尺		